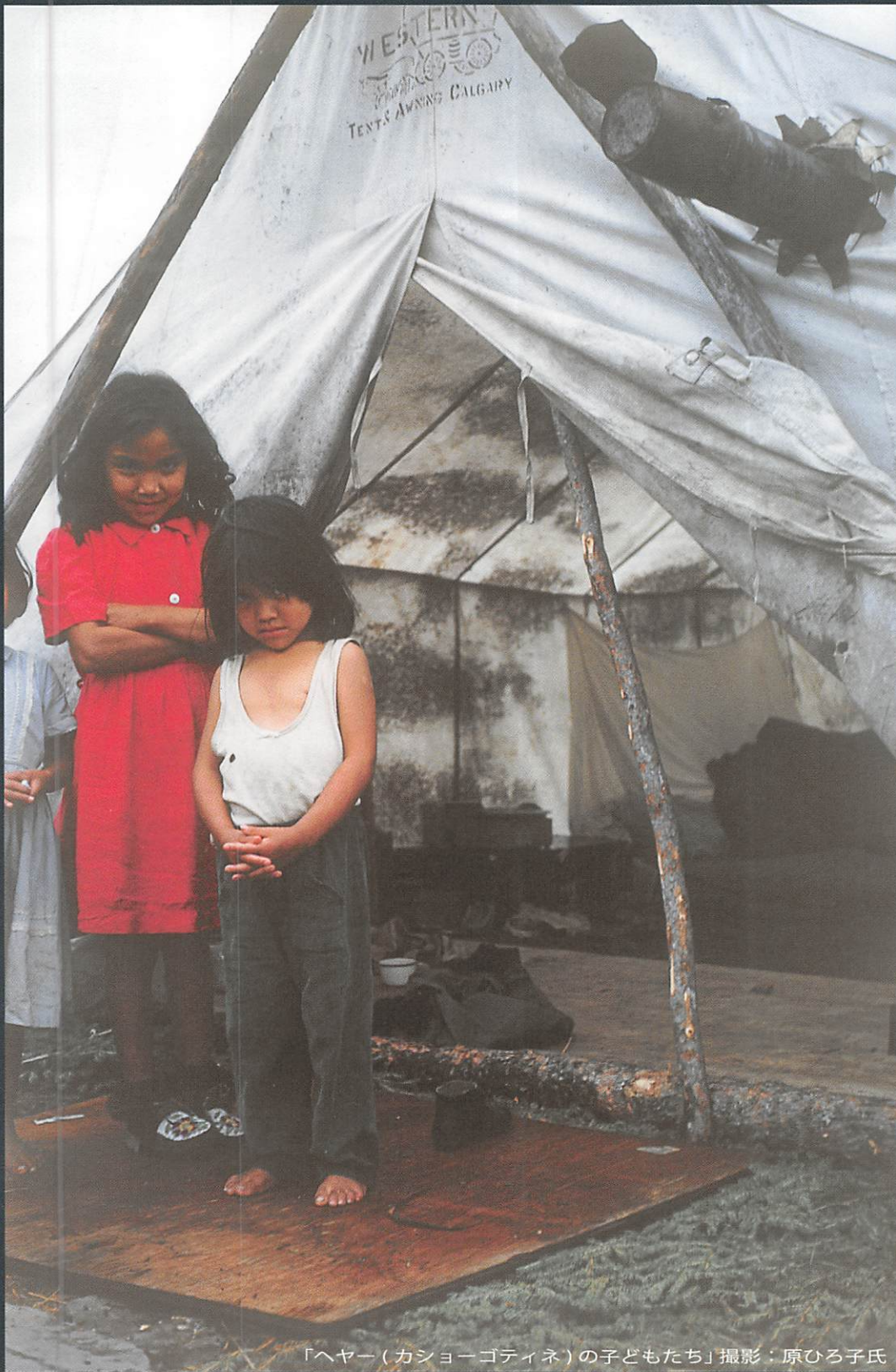


北  
米  
針  
葉  
樹  
林  
ボレアルフォレストの狩猟民

アサバスカ・インディアンの暮らし

Hunters of the Boreal Forest  
Lives of Athabaskan and Dene people



「ヘヤー（カショーゴティネ）の子どもたち」撮影：原ひろ子氏

2017.2.4 (土) — 4.2 (日) 9:30 — 16:30 観覧無料

休館：3月6日、13日、21日、27日

会場：北方民族博物館特別展示室

主催：北海道立北方民族博物館

協力：原ひろ子氏

山口未花子氏

近藤祉秋氏



ヘラジカ皮製手袋(ミトン)



白樺樹皮製船



# ボREALフォレストの狩猟民

アサバスカ・インディアンの暮らし

2017.2.4 [土] — 4.2 [日]

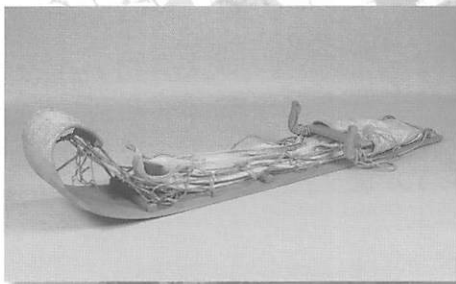


フード付ビーズ刺繍ヘラジカ皮製衣服

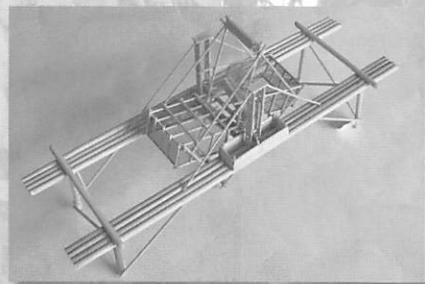
## ボREALフォレスト (Boreal Forest) とは？

今回の企画展では北アメリカのボREALフォレストに暮らすアサバスカ・インディアンの暮らしを紹介します。

北アメリカのおおよそ北緯 50 度以北、内陸アラスカからカナダにわたる広い範囲にボREALフォレストと呼ばれるトウヒやカラマツが生い茂る広大な北方針葉樹林が形成されています。この地域には、ユーコン川、マッケンジー川などの大河に加え、無数の湖沼や湿原が点在し、ヘラジカ、カリブー（トナカイ）、ハイイログマ、ビーバー、カンジキウサギなど多様な哺乳動物、河川を遡上するサケ類や湖沼のホワイトフィッシュなどの魚類が生息する豊かな生態系が形成されています。



木製イヌぞり



サケ捕獲用水車（模型）

## アサバスカ・インディアンの人びとは？

ハドソン湾以西から内陸アラスカにかけてのボREALフォレストに北方アサバスカ諸語を話す人びとが暮らしています。アサバスカ・インディアンと総称される彼らは伝統的に狩猟や漁労、採集によって生活し、狩猟を通じて動物たちと深い精神的な繋がりを築いてきました。

18 世紀後半からアサバスカ・インディアンは毛皮交易商人、探検家、宣教師といった白人と頻りに接触するようになります。白人社会との接触はそれまでの伝統的な生活を大きく変化させましたが、ビーズ細工などの工芸文化が開花する契機ともなりました。

本企画展ではアサバスカ・インディアンの伝統的な暮らしを、ワナやナイフ、ヤスなどの狩猟、漁労の道具、樹皮製カヌーやイヌぞり、かんじきなどの移動具、ヘラジカ皮のジャケットや、様々な種類のブーツやミトンなどから紹介します。また、現在も生きづく工芸文化について、ビーズ細工やその素材を展示します。展示室内では現地を調査している研究者達が撮影した写真や映像を用い、皆様を北方針葉樹の深い森の中に招待します。



ヘラジカ皮製靴



アサバスカ・インディアン居住地

## 【関連事業】 会場：当館講堂

2月5日(日) 10:00-11:30  
講座「ビーバーってどんな動物？動物園の現場から」  
講師：北村健一氏（東京動物専門学校校長）

3月19日(日) 10:00-11:30  
講座「ユーコンの先住民カスカの狩猟文化と世界観」  
講師：山口未花子氏（岐阜大学助教）

※要申込み。参加無料

## 【お問い合わせ / 申込み】

北海道立北方民族博物館  
〒093-0042 北海道網走市潮見 309-1  
(天都山・道立オホーツク公園内)  
TEL：0152-45-3888  
FAX：0152-45-3889  
<http://hoppohm.org>

